

# 令和6年度学校防災教育実践モデル地域研究事業の取組

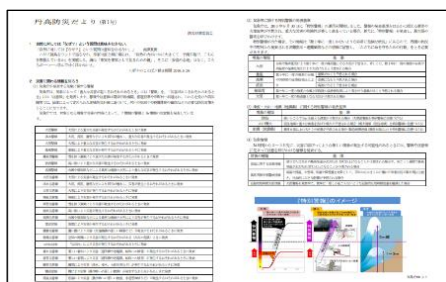
愛媛県立丹原高等学校

## 1 取組の目的

- (1) 生徒・教職員が地域の地理的特徴を理解し、災害に対する危機意識を高め、自他の命を守るために主体的に行動できる能力を身に付ける。
- (2) 南海トラフ地震や土砂災害など、想定される災害について、正しく理解する。
- (3) 災害時に求められる学校の役割を理解し、教職員の防災に関する資質を向上させる。
- (4) 学校安全計画・危機管理マニュアルを見直して、生徒・教職員に周知し、各々の視点で取り組むことができる実践的な防災教育・訓練を実施する。
- (5) 防災士資格取得者を中核教員として位置付け、モデル地域内における学校間や自治体との連携など、地域と一体となった取組を実施し、減災につながる社会づくりに貢献する。

## 2 取組の内容

- (1) 4月16日(火)、5月24日(金)、11月21日(木)、1月9日(木)「丹高防災だより」発行  
「丹高防災だより」(第3号)、「丹高防災だより」(第4号)は生徒が作成した。



- (2) 5月8日(水) 西条市防災マップの校内掲示



- (3) 5月15日(水) 第1回防災避難訓練(全校生徒対象)

地震発生を想定し、避難経路の確認や教職員の役割を確認した。





#### (4) 5月16日(木) 自衛隊災害時対策講座

自衛隊新居浜出張所の救急救命やロープワークのワークショップを実施した。生徒たちは、災害時における止血方法等を学んだ。

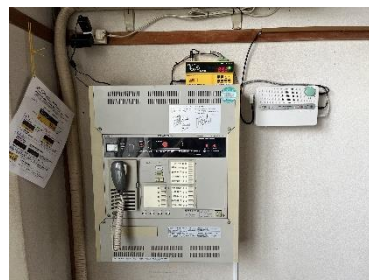


#### (5) 5月22日(水)、5月29日(水)、6月5日(水)、6月12日(水)、9月18日(水)、10月23日(水)、12月4日(水) 防災ベンチの共同製作

3年1組・2組の防災ベンチ担当生徒が、東予高校機械科の課題研究に定期的に参加し、防災ベンチの共同製作に取り組んだ。完成した防災ベンチは、12月6日(金)の「学校に泊まろうプロジェクト」でも使用した。



#### (6) 6月24日(月) 緊急地震速報システム設置





(7) 7月18日(木) 緊急地震速報受信システムを活用した第2回避難訓練

通行止めを2か所設置するなど、生徒が発案した実践的な避難訓練を実施した。



(8) 7月31日(水) 夏季セミナー

防災に関する内容の講義を開講した。それぞれの講義で、生徒たちは防災に関して新たな視点を得ることができた。

「歴史災害と地形環境」 徳島文理大学 古田昇教授

「災害避難所における福祉の向上」 松山東雲女子大学 田村浩志准教授



(9) 8月10日(土) 16:30~19:00 田野公民館で防災ベンチ実演

防災ベンチ製作班が東予高校の生徒と一緒に田野公民館で実施された盆踊り大会で、防災ベンチの実演を行った。災害時にバーベキューコンロとして使用できることを地域の方に知ってもらった。



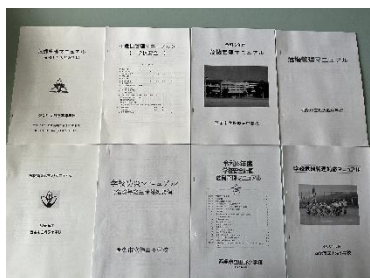
(10) 9月8日(日) 西条市応急手当競技大会への参加

丹原高校からは2チーム出場し、保健委員会チームが優勝した。大会に向けた練習を通して、生徒たちは応急手当の基礎知識やAEDの使い方を身に付けた。





(11) 10月1日(火)、12月12日(木)危機管理マニュアルの共有と比較・検討



【共有】

丹原小学校、徳田小学校、田野小学校、田滝小学校、中川小学校  
丹原東中学校、丹原西中学校、東予高等学校、丹原高等学校の、計  
9校で共有した。また、西条市教育委員会とも共有した。

【比較・検討】

自校と他校との内容の違いを確認し、改正すべき点を検討した。

(12) 10月25日(金)新居浜市防災センターでの防災体験学習参加

総合的な探究の時間の防災班が、新居浜市防災センターを訪問した。消火体験、煙避難体験、VRを使用した火災・水害の疑似体験などの体験学習を通して、災害に対する危機意識を高めることができた。また、体験した内容を1月14日(火)の丹高防災ミーティングにおいて全校生徒に発表した。



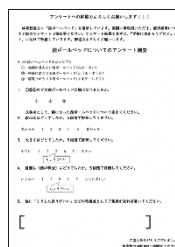
(13) 10月26日(土)菊花展での防災に関する展示

生徒たちの探究活動での取組を展示し、来校した多くの地域の方々に見ていただいた。



(14) 11月1日(金)丹高祭での段ボールベッドの展示とアンケート調査

探究活動で作成した段ボールベッドを展示した。実際に使用した感想や改良点などをアンケート調査した。このベッドは、12月6日(金)「学校に泊まろうプロジェクト」でも使用した。





(15) 11月2日(土)～11月4日(月)全国教職員対象・311被災地視察研修への参加

東日本大震災の震災遺構などを訪問した。(東松島市野蒜地区、気仙沼杉ノ下慰霊碑、気仙沼向洋高校遺構、釜石市鶴住居地区、陸前高田市伝承館、南三陸町戸倉地区、石巻市大川小遺構、石巻市門脇小遺構など)実際に現地でないと感じられないものがあった。また、それぞれの場所で、様々な教訓を学ぶことができた。また、この視察研修の内容を、1月14日(火)の丹高防災ミーティングにおいて全校生徒に発表した。



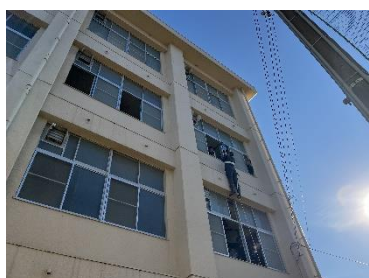
(16) 11月12日(火)避難所レイアウトを考えるワークショップ

2年生が西条市危機管理の避難所レイアウトを考えるワークショップに参加した。生徒たちは班ごとにレイアウト案を考え、発表し、良かった点や改善点を共有した。後日、生徒会役員でレイアウトを一つにまとめた。完成したレイアウトは、12月6日(金)「学校に泊まろうプロジェクト」で使用し、危機管理マニュアルに掲載した。



(17) 11月25日(月) 避難器具(緩降機)体験教職員研修会

12月6日(金)「丹原高校防災DAY」に向けて、緩降機体験教職員研修会を実施した。生徒たちに使用させるときの注意点がよく分かった。また、壊れた換気扇カバーの取り外しや、丈夫な窓ガラスへの交換など、事前に危険個所の確認や整備をすることができた。





(18) 12月6日(金)「防災DAY～学校に泊まろうプロジェクト～」での体験学習

【予告なし避難訓練】 生徒が発案した清掃時の予告なし避難訓練を実施した。通行止めを設置し、要救助者を出し、担架やトランシーバー、AEDを使用するなど、実践的な訓練ができた。この様子はNHKで放映された。



【緩降機体験】 消防署員の指導のもと、校舎の3階と4階から緩降機による避難訓練を実施した。



【ロープワーク体験】 自衛隊の方を講師として、ロープワーク体験を実施した。



【松山工業高校出前授業】 クイズ形式で授業が進められた。参加した児童や生徒は、楽しく防災に関する知識を身に付けることができた。



【自衛隊炊き出し支援体験】 自衛隊松山駐屯地の方に豚汁の炊き出しをしていただき、体育館で全校生徒が食べた。





【避難所開設訓練】 希望者約100人が参加した。西条市危機管理課の指導の下、生徒会役員を中心に避難所開設訓練を実施した。2m×2mで居住スペースを作ったあと、パーティションで仕切り、畳や段ボールベッドを運び込んだ。



【ヒートパック体験】 自衛隊の方からヒートパックの使用方法を教わり、各自でレトルトカレーとレトルト御飯を温めた。



【防災ベンチの活用】 共同製作した防災ベンチをバーベキューコンロとして使用した。一緒に製作した東予高校の生徒も参加した。防災倉庫にあった発電機や投光器も使用した。



【宿泊体験】 希望者約50人が体育館に宿泊した。探究活動で作成した段ボールベッドも使用した。寒さから十分に睡眠をとれなかった生徒も多かったが、体調不良者はなく無事に実施できた。

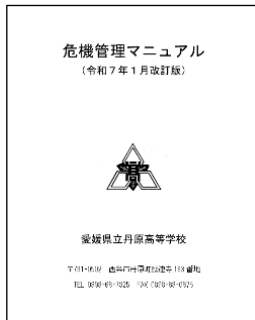


【校長講話、防災担当者講話】 就寝前には防災に関する講話を行った。

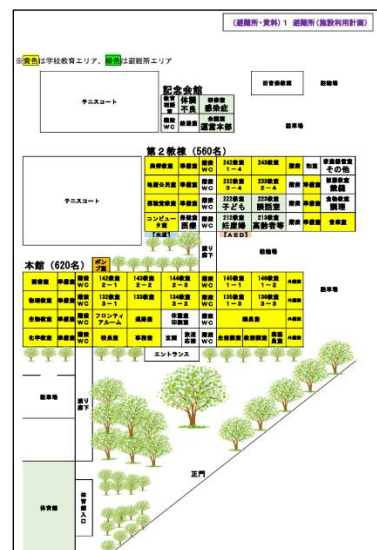
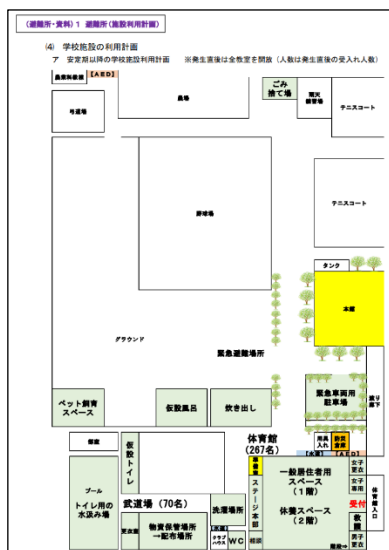
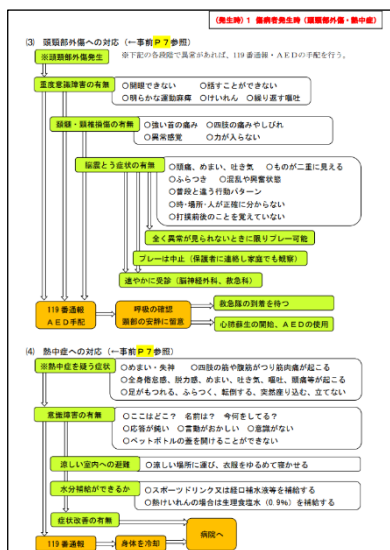
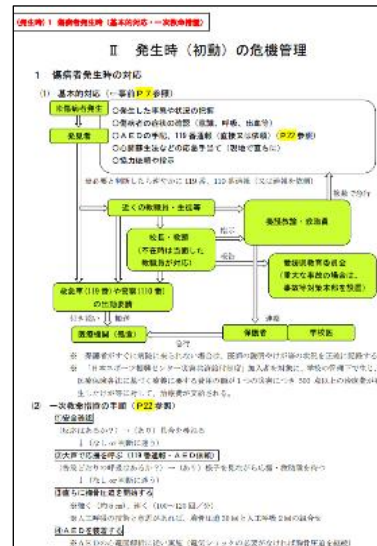




## (19) 1月8日(水) 危機管理マニュアルの改訂



- ・ 東予高校と参集基準等を統一することができた。
- ・ 12月6日の避難所開設訓練で使用した避難所レイアウトや、実際に実施した手順等を参考に、避難所開設・運用マニュアルの内容を変更した。
- ・ 「学校の危機管理マニュアル等の評価・見直しガイドライン」の内容を再点検し、丹原地域や本校の現状に合わせて全面的に改訂し、ホームページの掲載を更新した。



## (20) 1月8日(水)～31日(金) 危機管理マニュアルに関する教職員研修

1月8日(水)に教職員に配付し、オンラインで教職員研修を実施して内容の周知を図った。

令和7年1月8日(水)～令和7年1月31日(金)

### 丹原高等学校 危機管理研修

- 1 事例から学ぶ
- 2 状況別Q&A
- 3 危機管理マニュアル共通理解
  - I 事前の危機管理
  - II 発生時(初動)の危機管理
  - III 事後の危機管理
  - IV 避難所マニュアル

|                 |      |
|-----------------|------|
| 研修内容            | 研修時間 |
| 1 事例から学ぶ        | 10分  |
| 2 状況別Q&A        | 10分  |
| 3 危機管理マニュアル共通理解 | 10分  |
| 4 避難所マニュアル      | 10分  |
| 5 避難所レイアウト      | 10分  |
| 6 避難所開設訓練       | 10分  |
| 7 避難所運用マニュアル    | 10分  |
| 8 避難所評価         | 10分  |
| 9 避難所見直し        | 10分  |
| 10 避難所見直し       | 10分  |
| 11 避難所見直し       | 10分  |
| 12 避難所見直し       | 10分  |
| 13 避難所見直し       | 10分  |
| 14 避難所見直し       | 10分  |
| 15 避難所見直し       | 10分  |
| 16 避難所見直し       | 10分  |
| 17 避難所見直し       | 10分  |
| 18 避難所見直し       | 10分  |
| 19 避難所見直し       | 10分  |
| 20 避難所見直し       | 10分  |
| 21 避難所見直し       | 10分  |
| 22 避難所見直し       | 10分  |
| 23 避難所見直し       | 10分  |
| 24 避難所見直し       | 10分  |
| 25 避難所見直し       | 10分  |
| 26 避難所見直し       | 10分  |
| 27 避難所見直し       | 10分  |
| 28 避難所見直し       | 10分  |
| 29 避難所見直し       | 10分  |
| 30 避難所見直し       | 10分  |
| 31 避難所見直し       | 10分  |
| 32 避難所見直し       | 10分  |
| 33 避難所見直し       | 10分  |
| 34 避難所見直し       | 10分  |
| 35 避難所見直し       | 10分  |
| 36 避難所見直し       | 10分  |
| 37 避難所見直し       | 10分  |
| 38 避難所見直し       | 10分  |
| 39 避難所見直し       | 10分  |
| 40 避難所見直し       | 10分  |
| 41 避難所見直し       | 10分  |
| 42 避難所見直し       | 10分  |
| 43 避難所見直し       | 10分  |
| 44 避難所見直し       | 10分  |
| 45 避難所見直し       | 10分  |
| 46 避難所見直し       | 10分  |
| 47 避難所見直し       | 10分  |
| 48 避難所見直し       | 10分  |
| 49 避難所見直し       | 10分  |
| 50 避難所見直し       | 10分  |
| 51 避難所見直し       | 10分  |
| 52 避難所見直し       | 10分  |
| 53 避難所見直し       | 10分  |
| 54 避難所見直し       | 10分  |
| 55 避難所見直し       | 10分  |
| 56 避難所見直し       | 10分  |
| 57 避難所見直し       | 10分  |
| 58 避難所見直し       | 10分  |
| 59 避難所見直し       | 10分  |
| 60 避難所見直し       | 10分  |
| 61 避難所見直し       | 10分  |
| 62 避難所見直し       | 10分  |
| 63 避難所見直し       | 10分  |
| 64 避難所見直し       | 10分  |
| 65 避難所見直し       | 10分  |
| 66 避難所見直し       | 10分  |
| 67 避難所見直し       | 10分  |
| 68 避難所見直し       | 10分  |
| 69 避難所見直し       | 10分  |
| 70 避難所見直し       | 10分  |
| 71 避難所見直し       | 10分  |
| 72 避難所見直し       | 10分  |
| 73 避難所見直し       | 10分  |
| 74 避難所見直し       | 10分  |
| 75 避難所見直し       | 10分  |
| 76 避難所見直し       | 10分  |
| 77 避難所見直し       | 10分  |
| 78 避難所見直し       | 10分  |
| 79 避難所見直し       | 10分  |
| 80 避難所見直し       | 10分  |
| 81 避難所見直し       | 10分  |
| 82 避難所見直し       | 10分  |
| 83 避難所見直し       | 10分  |
| 84 避難所見直し       | 10分  |
| 85 避難所見直し       | 10分  |
| 86 避難所見直し       | 10分  |
| 87 避難所見直し       | 10分  |
| 88 避難所見直し       | 10分  |
| 89 避難所見直し       | 10分  |
| 90 避難所見直し       | 10分  |
| 91 避難所見直し       | 10分  |
| 92 避難所見直し       | 10分  |
| 93 避難所見直し       | 10分  |
| 94 避難所見直し       | 10分  |
| 95 避難所見直し       | 10分  |
| 96 避難所見直し       | 10分  |
| 97 避難所見直し       | 10分  |
| 98 避難所見直し       | 10分  |
| 99 避難所見直し       | 10分  |
| 100 避難所見直し      | 10分  |



## (21) 1月14日(火) 丹高防災ミーティングの開催

新居浜市防災センターでの防災体験学習やAEDに関する保健委員会活動報告、全国教職員対象・311被災地視察研修会の報告を全校生徒と教職員を対象に行った。



## (22) 1月14日(火) アンケート調査

今年度の事業の取組に関するアンケート調査を生徒や保護者、教職員に実施した。防災意識の向上が顕著に見られた。

表1 防災意識が向上した人の割合

|       | 生徒   | 保護者  | 教職員   | 全体   |
|-------|------|------|-------|------|
| 割合(%) | 99.7 | 98.0 | 100.0 | 98.9 |

## (23) 1月22日(水) 冊子「本当に知ってる?防災食のこと」配布

一般社団法人日本即席食品工業協会発行の冊子「本当に知ってる?防災食のこと」を、防災食への興味関心を持たせることを目的として、全校生徒及び教職員へ配布した。



## 3 取組の成果

年間を通して実践的、体験的な取組を行った結果、1月のアンケートで99.7%の生徒が「防災意識が向上した」と回答するなど、成果が見られた。総合的な探究の時間では、「防災班」を設け、防災班生徒による防災体験学習、保健委員会による校内AED活用検証、防災担当教職員に視察研修の内容を全校生徒の前で発表し、共有したことも防災意識の向上につながったと思われる。教職員に関しても、緩降機の事前体験研修、避難訓練でのヘルメット着用・トランシーバー使用による行方不明者搜索研修、担架でのけが人救出及びAED運搬・使用研修、危機管理マニュアルのオンライン研修等を行い、危機管理意識と実践力が向上した。

避難訓練では、緊急地震速報受信システムの活用、清掃時間での予告なし訓練、避難経路への通行止め設置、けが人や行方不明者の設定など実践的な訓練ができた。

防災班の生徒たちが、新居浜市防災センターでの体験学習及び全校生徒の前での発表、実践的避難訓練内容の考案・実行、段ボールベッドの作成・検証、防災食の調理・実食アンケート実施など、精力的に活動した。また、「学校に泊まろうプロジェクト」は生徒の発案であり、「避難所レイアウト」も西条市危機管理課の指導の下で生徒が作成したものを実践して危機管理マニュアルに掲載した。このように、生徒主体の活動を行うことができた。

12月6日(金)の「防災DAY」は、午前中に全校生徒が関係機関や近隣の小中学校、高校と連携した



活動をし、午後は希望者が「避難所開設訓練」及び「学校に泊まろうプロジェクト」に参加した。いずれも有意義な活動であった。自衛隊、西条市西消防署、西条市危機管理課などの関係機関と連携するとともに、松山工業高校による出前授業や、東予高校・丹原東中学校・丹原小学校の児童・生徒の参加など、協働的な活動となった。特に東予高校とは一緒に製作した防災ベンチを使用し、本校園芸科学科の生徒が栽培した野菜を調理するなど、県立学校振興計画による新校開設も見据えた有意義な交流学習となった。当日は授業公開日に設定し、保護者の参加もあった。これらの活動は、NHKニュース、愛媛新聞、西条市役所の公式 Facebook でも取り上げられ、情報発信を行うことができた。

危機管理マニュアルは、令和4年10月に文部科学省の「学校の危機管理マニュアル等の評価・見直しガイドライン」及び「チェックリスト」に準拠して全面改訂していたが、より丹原地域や本校の現状に合わせ、ビジュアルで具体的な内容になるように、再び全面改訂した。具体的には、対応チャートの充実、写真や図の使用、事前・発生時・事後をカラーで明示、避難所での学校施設利用計画の具体化等を行った。また、本校と東予高校の間で教職員参集、安否確認、下校・引渡しの基準を統一することができた。



令和6年6月19日(水)付け愛媛新聞  
(掲載許可番号 d20240619-03)



令和6年8月15日(木)付け愛媛新聞  
(掲載許可番号 d20240815-013)



令和6年12月11日(水)付け愛媛新聞  
(掲載許可番号 d20241211-01)

#### 4 今後の課題

今年度、地域と一体となった避難訓練は実現していない。小学校は西条市危機管理課と連携して実施した実績があるが、県立高校としてどのように取り組めばよいのか手探り状態であった。

12月6日(金)の「防災DAY」は、全校生徒が関係機関や近隣の小中学校、高校と連携して活動した。とても有意義な活動であったが、来年度以降「防災DAY」をどのような内容で実施するのかを検討する必要がある。第3回実践委員会では、「更に大規模な避難訓練を行うのではなく、有事の際に危機管理マニュアルの内容を確実に実行できるよう反復訓練する必要がある。」「今年度の避難所開設訓練から一歩進め、高齢者や障がい者等が避難してきたことを想定した避難所運営訓練を行う。」「生徒一人一人の防災カルテを作成する。」などの意見が出された。これらを参考にし、防災教育の継続を図りたい。

危機管理マニュアルについて、モデル地域内のマニュアルを共有することで自校と他校との内容の違いを相互に確認することができた。その中で、教職員参集、安否確認、下校・引渡しが小学校間、中学校間で統一されていないことが分かり、今後の課題となっている。

本事業終了後も、継続してモデル地域内の学校や自治体、関係機関と連携して防災教育を進め、生徒や保護者、教職員の防災意識を向上させたい。また、生徒の主体性に基づいた活動を継続していきたい。